

都道府県名:大分県	市町村名:臼杵市
<p>1. 活動名</p> <p style="text-align: center;">里山再生路網整備事業</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>数十年前までは、人々は食べ物の煮炊き、風呂の湯を沸かす等のために、集落の近くにある山に入り、燃料確保の手段として雑木を伐採していた。それに付随し、山の下草刈りといった管理も定期的に行われていた。</p> <p>さらに、人工林に目を移せば、戦後の拡大造林以降しばらくは、財産としてのスギ・ヒノキに人々は関心を持っていた。</p> <p>しかし、時間の経過につれ、石油を燃料として活用するようになると、木の燃料としての価値が低下し、一方ではスギ・ヒノキの木材価格低迷が長引くにつれ、人々の山への関心は低下し、手入れの行き届いていない放置林・手遅れ林が残されることとなった。</p> <p>臼杵市においても、多くの山が手入れの行き届いていない状態ではあるため、人々の関心は益々薄れて行きつつある。</p> <p>しかし、山という財産について考えてみれば、水源涵養や災害の未然防止、人々のやすらぎの場の提供、地球温暖化防止といった多面的機能を有しており、現在の山ではこれらの機能を十分に発揮しているとは言い難い。</p> <p>臼杵市では、これらの状況を踏まえ、山の再生に取り組んでいる。そのためには、放置された山に、道を開設し現場での作業効率を上げる必要がある。道を作ることにより、作業員及び作業機械が現場付近まで入ることにより伐採・搬出を容易にすることが出来る。</p> <p>こうして、整備した山にクヌギ・シイなどの広葉樹を植えて、針広混交林を作り多面的機能を十分に発揮し、市民が気軽に入山出来て憩いの場となること、また、活力ある山から生産される健康な土壌の養分が川に流れ、さらに海に注ぎ、農業・漁業にも良い効果が出ることを期待する。</p> <p>この山を再整備し活力ある地域創造する第1歩として、この里山路網整備事業に取り組むものとする。</p>	
<p>3. 実施主体</p> <p style="text-align: center;">臼杵市</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <p>平成22年度:作業道開設延長3,196m 及び、路面への敷砂利</p>	
<p>5. 支援事業</p> <p style="text-align: center;">平成22年度里山再生路網整備事業(地域活性化、きめ細かな臨時交付金)、国100%</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <p>平成23年現時点では、上記事業を活用して開設した作業道の延長は3,196mに達している。しかしながら、作業道の開設とは、山の管理の第1歩に過ぎない。現時点の成果に満足するのではなく、間伐を実施することや広葉樹の植樹を実施すること、又、付近の住民を招いて、森林の恵みについて考えて頂く機会を設けること等がこれからの課題であり目標です。</p>	

写真添付欄

写真の説明欄



作業道から見た周囲の里山



作業道周辺の風景



作業道周辺の風景



作業道周囲の樹種状況